



東近江トレイル実行委員会
五個荘地区まちづくり協議会
事務局長
田島 宏さん
バイタリティーあふれる人柄で、東近江トレイル実行委員会の窓口として活動中。来年に予定している東京オリンピックの市民聖火ランナーにも選ばれている

information
東近江トレイル【織山】コース
里山の歴史と紅葉を感じるツアー

- 日時** 11月21日(土) 8:30~15:30
- 集合** JR能登川駅改札前
- 料金** 2,500円
(保険代、ガイド料、観音正寺拝観料、里山整備基金、和菓子付き)
- 定員** 20人(先着順/大人のみ)

【問い合わせ・申し込み】
東近江トレイル実行委員会
☎0748-48-7303
✉go-machikyo@e-omi.ne.jp

※メール申し込みの際は、郵便番号、住所、氏名、年齢、連絡先を明記

越」をさらに南進すると、ほどなくして織山コース随一の展望ポイントがあります。そこで目に飛び込んできたのは、青空を映す琵琶湖、眼下に広がる近江盆地、黄金色に染まる田んぼと豊かな緑。道中でたまった疲れが吹き飛んでしまうほどの絶景が広がっていました。

展望ポイントから織山三角点まではすぐそこ。「東近江トレイル」最高峰の標高433メートルでの記念撮



織山コースのスタート地点であるJR能登川駅から南へ向かうと、市立能登川病院の裏手に登山口となる猪子山公園があります。「山面古墳群」と「上山天満天神社」に寄り道しながら登ること20分ほどで、展望スポットを兼ねる「北向岩屋十一面観音」に到着します。「織山近辺の山道は、ほぼすべてが観音正寺に通じる道です。一般登山者に加えて参拝者も訪れるので、行楽シーズンの人通りは活発です」との田島さんの解説のとおり、十一面観音のおわす猪子山山頂付近には多くの人の姿が。この日は好天と鷹の渡りシーズンもあいまって、双眼鏡やカメラを抱えた野鳥ファンが集まっていました。

猪子山三角点を経てしばらく尾根を歩いていくと、きぬがさ山トンネルをまたいだあたりで龍の彫刻が見どころの「雨宮龍神社」にたどり着きます。石馬寺地区に分岐する「地獄

ピギナーからベテランまで
楽しみ方はさまざま

青空と心地よい風に恵まれたある秋の日。JR能登川駅から近江鉄道八日市駅間にある山々を縦走する「東近江トレイル」を体験すべくやってきた取材班を迎えてくれたのは、本日の先導役・五個荘地区まちづくり協議会の事務局長・田島宏さんでした。「東近江トレイル」はまだ知名度こそ低いですが、老若男女が楽しめる魅力いっぱいの登山コースです。登山初心者の方でも気軽に楽しめる、集落にも近い点が、人気の理由のひとつです」といいます。



巻頭特集
絶景あり!歴史・文化遺産あり!
驚きと感動が盛りだくさん!

東近江 トレイルを 満喫しよう!

観音正寺を擁する織山、箕作城の遺構がこの箕作山、太郎坊宮が鎮座する赤神山。「東近江トレイル」と名付けられた5座が連なる山々の標高は、いずれも300~400メートルほど。しかし実際に歩いてみると、その身近な山からは想像できないほど、さまざまな楽しみがぎゅっと詰まっていた。



展望ポイントから織山三角点まではすぐそこ。「東近江トレイル」最高峰の標高433メートルでの記念撮

「参拝者の多い織山に比べると、箕作山はゆったりとした時間を楽しめます。赤神山からのパノラマも格別です」と、「東近江トレイル」のもう一つのコースである箕作山コースの魅力語る田島さん。箕作山コースも箕作城址や太郎坊宮、瓦屋禅寺が点在し、自然、歴史、文化が豊かに息づく魅力的なコースです。

歴史と文化があり、春のミツバツツジや秋の紅葉などの自然がとにかく素晴らしい「東近江トレイル」。その1コースを堪能し終えた取材班は、山が与えてくれた開放感で胸いっぱい、少しばかりの足腰のきしみもアクセントとなって、「もう一度あの景色が見てみたい!」とすっかり虜になったのです。

影に興じたのち、観音寺城址を経て静かなたずまいが美しい観音正寺へ。ガイドで手慣れた田島さんは例外として、大人でも息が上がってしまうほどのアップダウンを、仲間たちで励まし合いながら進みます。観音正寺で参拝ついでにひと休みしたのち、五個荘の川並地区へと続く山道を下り、ふもとの結神社へ。織山コースは約5時間で縦走完了となりました。

魅力満載のトレイルコースを地域活性化に生かすために

織山と箕作山を縦走するコースに「東近江トレイル」の名が付いたのは、平成28年2月のこと。魅力たっぷり山道より多くの人に知ってもらおうべく、平成30年に、きぬがさ山里山に親しむ会、山貴会、越後の里山

整備団体と健康倶楽部がかししょう、五個荘地区まちづくり協議会が一体となって「東近江トレイル実行委員会」を立ち上げました。「各団体とともに東近江トレイル構想計画を練り上げると、さらに東近江市エコツーリズム推進協議会の協力により、本格的に計画が動き始めました」と、田島さんは当時の盛り上がりを振り返ります。翌年から開催しているトレイルツアーに多くの参加希望者が集まっていることから、山々とその周囲のまち並みが多くの人を引きつける魅力に満ちていることがわかります。

同委員会が主催するトレイルイベントは、新緑と紅葉シーズンの年2回。今年4月に予定していたツアーは、残念ながら新型コロナウイルス感染症への懸念から中止となってしまいました。その分、紅葉シーズンと真ん中に開催される11月のツアーに期待が寄せられます。

「今後は、道中のお寺での座禅体験を組み込んだり、近江商人屋敷でランチを楽しむコースも計画し、より価値を高めていきたい。ポイントごとに東近江トレイルコースを示す看板も設置したいと考えています。コロナに負けるつもりは、まったくありませんよ」と、田島さんは東近江の山々の魅力あふれる表情に負けない、とびきりの笑顔で話します。

秋深まる11月。木々が鮮やかに色づく季節がやってきました。越後の外出について足踏みしてしまっ今こそ、地元の魅力再発見してみたいかがでしようか。